

Richast ~ピチヤリ~

七飯町歴史館だより
第10号

ななえ古写真物語

VOL. 10

牛のはなし

~七重官園牛牧場~

明治3~14年

現在の町付近

写真は、明治8~14年に撮影。



nanae historical
museum collection

この写真は、明治初年に七飯町に設置された開拓使の試験農場（通称 七重官園）内の牛牧場の様子です。史料によれば、現在の七重小学校のところに試験農場の事務所を置き、そこより北東側にあたる所から南西方向にかけて、110町歩ほどの牧場を設け、周囲には木柵をはりめぐらせたといえます。

七重官園では、国産の牝牛に「ダルハム」や「デブオン」といった外国種の牛を交配させ、生まれた雑種を耕犁や運搬に使役した時の長所を記録しており、それによると「ダルハム」との雑種は、成長が早くて力が強く、「デブオン」との雑種は骨格や性質が良く、歩くのが早かったようです。また、「生乳初八需要者甚少ク粉乳或ハ酪ヲ製ス漸次需要者増加シ牛乳売下所ヲ函館ニ設ケタリ・・・」（開拓使事業報告第2巻より抜粋）と、牛乳を生産していたこともうかがえます。

他にも、七重官園の事業を記録した七飯町指定文化財「迫田家文書」に、牛の病気治療や飼育方法・チーズ製造法の記載がみられることから、七重官園で、本格的な牧場経営に向け、実験的な事業が展開されていたことがわかりました。上の写真は、当時を何う一葉となります。

さて、話は変わり現在の七飯町をみると、牧場の多くが軍川から東大沼に集中しています。美味しい牛乳や牛肉など七飯町の誇る牧場地帯ともいえるこのあたりでは、先に紹介した七重官園よりも昔に、牧場が開かれたことをご存知でしょうか？

その契機となったのは、ペリーの来航によって、鎖国が崩壊したことで、これにより、安政2年（1855）に箱館が開港され、多くの外国船が入港し、水や食料を供給するようになりました。この頃から、牛肉や牛乳などの需要も高まり、安政5年（1858）、その需要に応えるべく、箱館奉行所は肝付兼武という人物に命じ、軍川に牧場を設置しました。この牧場は軍川牛牧場と呼ばれ、牛50頭を飼育していました。今から、150年前の出来事です。

しかし、この牧場は、熊の被害が多くて経営がうまくいかなかったようで、後に、規模を縮小して峠下のあたりに移されました。熊の被害に悩まされるのは、今も変わりませんが、同じく、現在も、軍川周辺に広がっている牧場の歴史が、江戸時代にまでさかのぼることを覚えておいてほしいと思う「牛のはなし」でした。

3日 「夜の博物館」の前期最後の講座が開かれました。この日は、スライドを使いながら、七飯町の遺跡の分布や実際に発掘された遺跡の紹介があり、その後、ななえの遺跡の特徴について学芸員から解説がありました。計4回にわたり、遅くまでお付き合いいただき、皆さん本当に有難うございます。



スライドを熱心に見る聴講者



最後に絵本の読み聞かせも・・・

21日 「ふぁみりーでいみゅーじあむ」で、男爵薯を使った団子づくりに挑戦しました。歴史館の畑で収穫した男爵薯をゆでて、スプーンでつぶし、片栗粉などをまぜてよくねり、ダンゴの形にしたらゆでて出来上がりです。イモ団子は美味しかったかな？

27日 「収穫して食べる！」と題して、ジュニア探検クラブで、春に植えた男爵薯の収穫とイモ料理に挑戦しました。午前中はイモ掘りです。葉も茎も見えなくなった畑にクワを入れると、中からイモがゴロゴロとでてきました。午後からは、収穫したイモを使ってジャガイモパンケーキに挑戦です。ゆでたイモをつぶし、小麦粉などをまぜて、フライパンで焼いて食べました。



いっぱいできてきたよ！



ミニマムコンテストです！！

男の料理だ～！



親子いっしょにチャレンジしました！

28日 この日は、「せかいにひとつだけのJAMづくり」と題して、歴史館屋外展示のリンゴを使ったジャムづくりに挑戦していただきました。上手にリンゴの皮をむいてジャムを作った後は、自分でラベルを描いて、オリジナルのジャムを完成させました！美味しかったかな？

11月の予定

1	土	町民文化祭・ジュニア探検クラブ
2	日	町民文化祭
3	月	文化の日
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	館外展 CLOSE
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

11月の休館日はありません。

館外展がOPENしました！

大沼国際交流プラザにて、今年、大沼が国定公園昇格50年となることを記念し、当館所蔵の古写真や絵葉書を展示しています。皆さん、是非ご来館下さい。(S)



編集後記 ~tawagoto~

秋です。木々も赤や黄色に染まってきましたが、それより気になるのが大量の雪虫！！毎年、この時期になると、口や鼻に吸い込んでしまうのですが、今年は、異常に多い気がする。実は、そんな彼らはアブラムシの仲間、種類があるらしく、私たちが一般的に雪虫と呼ぶものは正式名称「トドノネオオワタムシ」というらしい・・・。さすが、読書の秋！いろいろ勉強になるなあ・・・と、前向きに雪虫たちと戯れる今日この頃です。(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~ 第10号

平成20年10月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町568-6

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp